



あなたの周りにワクワクするスノーフレークを作りませんか？

地域コミュニティや職場、NPO やボランティアの市民活動のチームなどで、「自分ばかりが頑張っている…」と感じたことはありませんか？

初めはみんなと一緒にやってきたはずなのに、いつの間にかバラバラになってしまったり、少ない人数でたくさんのやるべき事を抱えたり、本当は何を実現したかったのか分からなくなったり。。。そんな組織やコミュニティが抱える悩みを解決していくきっかけづくりとして「スノーフレークまつり*2019」を開催します。

スノーフレーク・リーダーシップとは、組織を雪の結晶に例えて、「一人のリーダーだけではなく、チームの一人ひとりが成長し力をつけていくことで、チームの力を引き出す仕組み」です。

オープニングではチームの悩みを分析するセッション、分科会では全国のスノーフレーク・リーダーシップを実践するリーダーが集い、実践報告やワークショップを行います。是非みなさんそれぞれの職場・活動でのチーム運営のヒントを持ち帰ってください！

ご挨拶

本日は、「スノーフレークまつり*2019」にご参加くださり、誠にありがとうございます！この場を通して、全国から集まった皆さんのが地域や分野を超えてつながり、少しでも自分のチームで実践してみようと思ったり、さまざまな取り組みを知って勇気をえたり、新しいことにチャレンジしようとする人との良い循環ができたりすることをめざしています。今回は、これまで東京で開催されていた「オーガナイザー祭」を引き継ぎ、地方で初めて「スノーフレーク祭」と名称を変え開催することとなりました。

久留米で開催したスノーフレーク祭、次回は関西や東北へも広がっていくことをめざしています。そして、地域で活動するリーダー達がそれぞれの分野やエリアでのさらなる活躍につながり、それがスノーフレークのようにつながり広がっていくことを期待して・・・

来年、日本のどこかでお目にかかりますように。

(スノーフレークまつり*2019 実行委員会メンバー一同)



國武 ゆかり
@久留米



尊田 智子
@久留米



金田 喜弘
@関西



山口 浩次
@関西



室田 信一
@関東



葛巻 徹
@東北



室田 信一

NPO 法人コミュニティ・オーガナイジング・ジャパン
代表理事・共同創設者

専門は地域福祉の実践研究やアクション・リサーチ。アメリカの大学・大学院でソーシャルワークを学び、その後ニューヨーク市内のNPOでコミュニティ・オーガナイザーとして勤務。帰国後、大阪のNPOでコミュニティソーシャルワーカーとして勤務。2012年4月より首都大学東京人文社会学部准教授。COJ設立より関わる。



井上 広之

認定 NPO 法人ソルト・パヤタス 事務局長

フィリピンでの支援活動に従事する中で「どうすれば現地の人の強みや良さを、貧困問題の解決に活かせるだろう？」とずっと考え続けてきました。その時にCO（コミュニティ・オーガナイジング）に出会い、これこそが私の求めていた手法だ！と直感しました。是非皆さんと一緒に、COが秘めている可能性について考えていただきたいです。

14：55～分科会セッション①

15：50～分科会セッション②

3つの中からそれぞれのセッション時間帯で
ひとつ選んでご参加ください。

分科会Ⅰ

コミュニティオーガナイジング ミニ体験

コーチングに触れる（前半）

関係構築に触れる（後半）

● 司会

金田 喜弘（佛教大学 福祉教育開発センター）
山口 浩次（大津市社会福祉協議会事務局次長）



鎌田 華乃子

NPO 法人コミュニティ・オーガナイジング・
ジャパン 理事・共同創設者

横浜生まれ。子どもの頃から社会・環境問題に关心があったが、11年間の会社員生活の中で人々の生活を良くするためには市民社会が重要であることを痛感しハーバード大学ケネディスクールに留学しMaster in Public Administration（行政学修士）のプログラムを修了。卒業後ニューヨークにあるコミュニティ・オーガナイジングを実践する地域組織にて市民参加の様々な形を現場で学んだ後、2013年9月に帰国。COJを2014年1月に仲間達と立ち上げ、ワークショップやコーチングを通じて、COの実践を広める活動を全国で行っている。現在ハーバード大学にて社会運動の国際比較研究に従事。今年8月からピッツバーグ大学で社会学博士課程を開始予定。

分科会Ⅱ

お互いのプロジェクトを支え合う ピアコーチング

岩手での実践

● 司会：尊田 智子



葛巻 徹

NPO 法人いわて連携復興センタ 代表理事

子どもが生まれたのを機に、10年前からNPO活動を始める。自身の活動や、中間支援の活動の中で、「活動を広げる為には、地域で共感を得て当事者と一緒にアクションしていく事」の必要性を感じ、2014年からコミュニティ・オーガナイジングのワークショップ、実践を岩手県と花巻市を中心に仲間達とチャレンジしている。



佐藤 美代子

NPO 法人まんまるママいわて
代表理事

「人がいない」「お金がない」「みんな分かってくれない」COに出会うまでそう思っていた私がCOという手法で1から組織作りに取り組み、無かったものが実現していくのは本当にワクワク！田舎でも！カリスマじゃなくても大丈夫！今も地道に実践中です。

分科会Ⅲ

チームでゴールを達成する為の 戦略づくり

全国・世界の事例から

● 司会：上原 敬子



依田 純子

クリント コーファウンダー

COJ理事、ハーバード大学フェロー。クリントはアジアの貧困の女性や子供をコミュニティで問題解決する為の研修やCOキャンペーンを伴走する米国ベースのNPOです。2011年の設立以来、ミャンマー、シンガポール、ベトナム、カンボジア、インドネシアで300人のリーダーが研修を受け2000人にアウトリーチしてきました。



森野 道代

社会福祉法人大津市
社会福祉協議会 主任

40歳で福祉道の分岐点に立ち、高齢者福祉から地域福祉へ進む決断をしました。でも、地域福祉道を歩き始めたものの、経路もわからず、目的地も見失い迷子になりました。そんな折にCOという道標を見つけました！わたしの「ストーリー」が誰かの心に響くように、まだまだ語りの修行中。



廣岡 瞳

NPO 法人 coco change

「あの人だから仲間が集まる」「あのリーダーがいないと進まない」が当たり前と思っていたが、COの考え方・工夫によって特別な人じゃなくても何でもできるんだ！と感動。四苦八苦しながら、COの手法を生かした団体を仲間と共に設立・運営中。

一人一人の力や思いの結集によって
地域の課題を解決できる社会を実現したい！



ご支援いただいた皆様

吉田祐一郎、会沢裕貴、高橋紀子、安谷屋貴子、ナカシマコウジ、Kenji Imasaki、Hiroharu Narazaki、No5
大橋銳誌、浦川直人、馬場篤子、藤野雅弘、馬場治文、mamoru.ohashi、金田喜弘、篠原幸子、亀さん、他

※順不同、敬称略

プログラム・登壇者紹介

※時間や内容は変更する場合があります

14:00～オープニング

井上 広之

認定 NPO 法人ソルト・パヤタス 事務局長

フィリピンでの支援活動に従事する中で「どうすれば現地の人の強みや良さを、貧困問題の解決に活かせるだろう？」とずっと考え続けてきました。その時にCO（コミュニティ・オーガナイジング）に出会い、これこそが私の求めていた手法だ！と直感しました。是非皆さんと一緒に、COが秘めている可能性について考えていきた

16:40～全体セッション

17:10～クロージング

17:30 終了

18:00から1時間程度

懇親会をします（希望者のみ）

参加費1,000円